

【基本施策3】障害者がスポーツに親しむ機会の充実

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
22	【重点事業】障害者を対象としたスポーツ事業の実施		
事業概要	①各体育館等において、障害の特性に配慮したスポーツ事業（一般公開、教室・講習会、交流機会など）を開催する。 ②障害担当所管の事業と連携し、障害者基本法第9条に基づく障害者週間（12月3日から9日まで）の一環として障害者週間記念事業を実施する。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	C:計画目標を一部達成した
令和元年度実績	①障害の特性に配慮したスポーツ事業 (1)一般公開 碑文谷体育館 293人 (2)教室講習会 駒場体育館 2事業 160人 碑文谷体育館 2事業 190人 中央体育館 1事業(大規模改修工事中のため実施せず) 八雲体育館 2事業 54人 砧野球場・砧サッカー場 1事業(管理事務所改築工事のため中止) (3)交流機会 駒場体育館 1事業 19人 区民センター体育館 1事業(新型コロナ感染拡大防止のため中止) 中央体育館 1事業 153人 砧野球場・砧サッカー場 1事業(管理事務所改築工事のため中止) 緑ヶ丘小学校屋内プール 1事業 60人 ②八雲体育館「ふれあいフェスティバル de スポーツ」59人		
評価の理由	・各施設に在籍する障害者スポーツ指導員や、障害者スポーツ団体、地域団体などが協力し、障害のある人が安全にスポーツに親しめるよう障害者向けの教室やイベント等を実施して、障害者の参加の増大を図った。また、障害のある人と地域住民等の交流機会(イベント)を設けるなど、各施設がそれぞれ事業を実施した。 ・改修・改築工事や、新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施できなかった施設もあった。		
課題など	・バリアフリー化が未実施の施設については、施設面での整備が必要である。 ・障害者スポーツの認知度をあげるため、各施設での教室事業やイベント等を積極的に実施していく。 ・障害のある人の運動方法に関する基礎的な知識及び技術を介助者へ提供するため、及び障害のある人への事業を拡充するために、各施設職員の障害者スポーツ指導員資格取得を推奨するとともに、関係団体との連携を継続していく。		

		所属名	道路公園課
事業No.	事業名		
23	ポニー教室(団体)		
事業概要	運動機能・情緒面の発達、社会参加を意識したプログラム実施により、障害児の自立支援に寄与することを目的とし、碑文谷こども動物広場にて、動物の世話や乗馬など、利用団体に応じたメニューを実施する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	C:計画目標を一部達成した
令和元年度実績	ポニー教室(団体) 227件、3,868人が参加		
評価の理由	前年度から利用件数及び利用人数がやや減少したため。		
課題など	特になし。		

		所属名	青少年プラザ
事業No.	事業名		
24	ステップアップ講座		
事業概要	知的障害がある参加者が、学習活動(生活学習・ヒップホップダンスサークル・造形サークル)を通して、自主的に社会に参加し、より豊かな生活を送るための力を身につける。(15歳～35歳)		
計画目標	継続	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	B:計画目標を達成した
令和元年度 実績	ユニークダンス 参加者 24人		
評価の理由	ステップアップ講座で行われている運動サークルは継続した事業となっており、令和元年度は参加者アンケートに基づいて、新たに実施した活動であったため、参加者が増加した。		
課題など	令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から活動発表の場を持たずに講座が終了した。今後、サークル活動を発表する場や方法を検討していくことは、課題であると考えられる。		